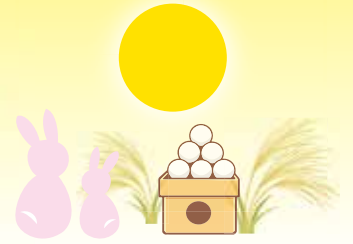


今月のテーマ

じんましん



じんましん(蕁麻疹)とは…

色々な原因によって起こる皮膚炎の一つで、突然肌の一部が赤くくっきり膨らみ、多くは強いかゆみがありますが、しばらくすると跡形もなく消えてしまうという特徴があります。跡が残るのはじんましんではない別の病気か、皮膚を掻き壊したことによるものです。このようにじんましんとは、皮膚の吹き出物全般を言うのではなく、ある特定の吹き出物のことを言います。

特徴



- ✿ 皮膚が赤くなる(紅斑こうはん)
- ✿ 皮膚が盛り上がる(膨疹ぼうしん)
- ✿ 急激に現れ、数十分～数時間たつと消えてしまう
- ✿ 強いかゆみがある



じんましんの原因になり得るもの

食 べ 物	魚介類(サバ、マグロ、エビ、カニなど)豚肉、卵、乳製品、大豆、小麦、ソバ、タケノコなど	
食品添加物	人工色素、防腐剤など	
薬	解熱鎮痛薬、抗生物質など	
植物・昆虫	イラクサ、ゴム、ハチなど	
物理的刺激	こすれ、圧迫、日光、寒冷、温熱、振動など	
そ の 他	疲労、ストレス、運動、感染症、内臓・全身性疾患など	

じんましんの約70%が原因不明



身のまわりの様々なものがじんましんの原因となり得ますが、実は原因を明らかにできないことの方が多く、「特発性のじんましん」と呼ばれています。「特発性のじんましん」は症状が現れたり消えたりを何日にもわたって繰り返します。

じんましの治療



まず、原因が明らかな場合は、できるだけ原因を除去・回避することが大切です。

治療には医師の診察が必要になり、抗ヒスタミン薬を中心とした飲み薬が治療の基本となります。他に副腎皮質ホルモンを使うこともあります。

薬を飲んでいる間は症状がおさまっていても、薬を止めたらまた元の症状が出る場合があります。そのため、特に原因がわからず繰り返すじんましんでは、薬を飲み続けることが非常に大切です。うまく症状をコントロールできるようになると、ほとんどの場合は少しずつ薬の量を減らすことができ、やがては薬を中止できるようになります。



じんましんは疲労やストレス、睡眠不足で悪化することもあります。できるだけ規則正しい生活をこころがけ、ストレスをため込まないようにしましょう。

じんましんはアナフィラキシーショックと呼ばれる非常に重いアレルギー症状として現れることもあります。息苦しさや吐き気、顔のむくみなどを伴う場合はすぐに医療機関を受診しましょう。



じんましの症状でお困りの場合は、皮膚科を受診してみることをお勧めします。

お薬や介護についてわからないことや、気がかりなことがありましたら、お気軽にお尋ねください。

担当 みやこ薬局 本店

***** みやこ薬局 *****

本店・山科店・薬大前店・マツヤスーパー店・北山店・紫竹店・大宮店

<https://www.miyako-ph.co.jp>